

## 会 議 録

会議の名称		第 29 回つくば市公共交通活性化協議会			
開催日時		平成 28 年 11 月 30 日（水曜日）10：00～11：30			
開催場所		つくば市役所 5 階 庁議室			
事務局（担当課）		企画部総合交通政策課			
出席者	委員	石田委員，勝家委員（代理：成松様），武田委員，磯委員，松橋委員，吉本委員，鬼沢委員，武藤委員，後屋敷委員，小林委員（代理：飯田様），浅野委員，石川委員，石濱委員，羽方委員，沼尻委員（代理：塚本様），田中委員，大澤委員，江戸委員，木田委員，坂本委員，一色委員，柳橋委員，小原委員			
	その他	なし			
	事務局	つくば市企画部総合交通政策課			
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 2 名
非公開の場合はその理由					
議題		1 平成 28 年度第 2 四半期つくバス・つくタク実績について 2 公共交通に関するアンケート調査について 3 つくバス利用環境整備について			
会議録署名人		－	確定年月日	平成	年 月 日
会議次第	1 開会				
	2 挨拶				
	3 議題	(1) 平成 28 年度第 3 四半期つくバス・つくタク実績について (2) 公共交通に関するアンケート調査について (3) 平成 29 年度つくバス・つくタク運行計画について			
	4 その他				

5	閉会
<p>&lt;審議内容&gt;           ○：委員，●：事務局</p> <p><b>1 平成 28 年度第 2 四半期つくバス・つくタク利用実績について</b></p> <p>○(委員)交通系 IC カードの導入に関して，路線バスは 10 回乗車すると，1 回分の割引を実施しているが，つくバスで同様の割引を実施しているか。また，今後実施する予定はあるか。</p> <p>●(事務局)つくバスは，交通系 IC カードの導入に伴う割引を実施していない。路線バスで実施している「バス得割引」は，割引率が統一されており，この割引率がつくバスに見合うかどうかを，収支状況を踏まえて今後検討する。</p> <p>○(委員)広域連携バスの便数に関して，それぞれ筑西市，桜川市との往復の便数はどのくらいか。</p> <p>●(事務局)筑西市との往復は上り 7 便と下り 7 便の 14 便となっており，桜川市との往復は上り 16 便と下り 16 便の 32 便となっている。</p> <p>○(委員)広域連携バスに関して，筑波山口発の北部シャトルがあまり混雑していないことを考慮すると，9 月と 10 月の筑波山口の始発の乗車人数を比較すると，広域連携バスによる移動を把握できるのではないか。9 月の乗車人数はどのようになっているのか。</p> <p>●(事務局)9 月の筑波山口発の乗車人数は別途確認する。</p> <p>○(委員)つくバスのバスロケーションシステムに関して，吉沼シャトルの利用は多いが，乗車人数はバスロケの利用者ほど多くない。この要因を分析すれば，運行改善につながるのではないか。</p> <p>●(事務局)乗車人数とバスロケの利用者が比例していないことについて，52 日間のデータしかないため，分析は出来ていない。バスの運行状況とバスロケーションシステムへのアクセス状況から検証を進める予定である。</p> <p>○(委員)つくタクのキャンセル待ちについて，1 人が複数予約をするという問題は解消されているのか。</p> <p>●(事務局)4 月から複数予約をお断りしているが，実際は複数予約が行われて</p>	

いるため、複数予約の禁止を徹底していく。予約キャンセルに関して、今年度は天候不順が多いため、予約キャンセルも多かったものと考えられる。

○(委員)田中へのバス停設置の話が資料内に記載されていないが、なぜか。それと、つくば市の学校が小中一貫となり、通学バスが使えない場合は、つくバスを利用することも考えられる。教育委員会は自家用車の送迎を原則禁止にしており、一方で、北部地域は、高齢者が多く、中心部にバスを利用して行く人も多い。そのため、田中へのバス停設置を検討していただきたい。

●(事務局)本日の資料のご意見については、市民からの意見をまとめているが、最終的なまとめには、協議会の意見も反映する。

●(事務局)田中には路線バスのバス停があり、つくバスのバス停を設置すると、競合する可能性がある。田中のバス停設置は、もう少し状況を分析した上で、検討していきたい。

●(事務局)通学に関する路線の改編は、通学バスの状況を教育委員会と共有しながら検討したい。

○(委員)広域連携バスを利用して、筑波山口からつくば駅まで来ている利用者はいるか。

●(事務局)朝夕は、行きと帰りで乗り継ぎをしている利用者がある程度みられるが、全体としては、乗継利用者は多くはない。

○(委員)桜川、筑西の便が直接、つくばセンター地区まで来ると、成田や羽田までの乗り継ぎもできるため、便利になる。また、関東鉄道バスの競合などの問題がなければ、桜川、筑西からの直接乗り入れについても検討していただきたい。

○(委員)つくタクに関して、キャンセル待ちが3割あるが、当日キャンセルがあるにもかかわらず、キャンセル待ちが解消されずに空車であるのはなぜか。その状況が起きていることを考えると、キャンセルを少なくする方法を検討する必要があるのではないか。

●(事務局)キャンセルの6割は当日に出ており、1人の複数予約などの当日キ

キャンセルを減少させることをまず検討する。現在のキャンセル待ちは、前日までに決定することになっているため、当日キャンセルが発生した場合は、キャンセル待ちがある場合も空車となってしまう。この点に関して、当日キャンセルが出た場合に、当日の配車変更が可能かをオペレーションと協議して、検討する。

○(委員)キャンセル後に空車となると、300円の収入がなくなる。市長の話によると、これから増車することを検討しているため、1人当たりの経費を考えるとかなりの損失となる。当日キャンセルの減少を検討していただきたい。

○(委員)キャンセル待ちの利用者とキャンセルした利用者のエリアが同一でないと、配車できないため、エリアが同一であるかも問題である。当日キャンセルのキャンセル待ちへの対応も検討していきたい。

○(委員)市長はつくタクについて、電話が繋がらないなどの問題に取り組むと発言していたので、改善方法を検討していただきたい。

○(委員)高齢者や地域の方からつくタクを予約する電話が繋がらないと聞いている。予約システムを改善し、高齢者や障害者の足となっていただきたい。広域連携バスについて、チラシに地域の観光地などの情報を掲載していただきたい。

●(事務局)つくタクは、予約が取れない、午前中は乗車できない、という2つの課題があるため、来年度の改善として、オペレーションの強化、車両の増車を検討している。広域連携バスについて、観光地などの情報は窓口センターなどで発信しているが、もう少し広報を強化する。

○(委員)利用者からつくタクの運転マナーが悪いという意見を聞いているが、その対応を聞かせていただきたい。

●(事務局)つくタクの運転マナーに関する意見は、セキショウキャリアプラスと市に届いており、対策は基本的にセキショウキャリアプラスで取っていただいている。市に届いている意見は、厳しいものが多く、市とセキショウキ

チャリアプラスの両方で対応している。

○(委員)つくタクのキャンセルに関して、キャンセルされる方は決まっている、という印象があるため、対応を検討した方が良い。

●(事務局)つくバスは、担当から営業所へと意見を伝えている。また、ドライブレコーダーを活用し、事実確認を行っている。つくタクのキャンセルをされる方は、つくタク利用時に体調が悪くなり、キャンセルした方もいるため、対応策を取るのが難しく、現在検討しているところである。

○(委員)つくバスについて、北部シャトルの民間移譲を考えた方が良い。特に秋の登山シーズンに立ち乗りしている方がいるため、このままのサービスで良いか疑問に思う。

●(事務局)北部シャトルの民営化は、以前から議論があったが、黒字額が民間移譲できるほどの額にないことと、路線バスとの競合があり、運賃によっては利用者の減少の可能性があるため、現在は見送っている。利用状況などを踏まえて、推移を確認していきたい。

○(委員)広域連携バスに関して、乗継割合は北部シャトルバスからの乗り継ぎ利用者という理解でよろしいか。

●(事務局)北部シャトルバスの利用者で乗り継ぎ割引を使用した方を対象としている。

○(委員)乗り継いでいる利用者は結構多い印象を受けるので、大事な利用者だと思われる。桜川からの便が多いという話があったが、当初の荃崎は最初の利用者が1人などということもあった。過去の体験を共有した方が良い。

○(委員)交通系 IC カードの導入について、トラブルの発生や定時性の確保への影響など、意見があれば聞かせていただきたい。委員の皆様は、それぞれの立場、地区を代表する方であることと、公共交通を良くするための協議会の一員としての立場があるので、課題を解決するための地域での対応策などを、立場を乗り越えた上でご意見していただきたい。

○(委員)運行当初は、乗務員と乗客ともに戸惑いがあったが、慣れてきて、定

時性の確保としては、良い方向に動いている。利用率は10%以上だが、路線バスについては増加すると考えられる。先行して始まった取手駅周辺では60%を超えているので、この値を目指していきたい。

○(委員)バスロケーションシステムに関して、路線バスでの実施可能性を教えてください。もし、つくバスと同じシステムにできるなら、そちらの方が便利である。

○(委員)路線バスにもバスロケーションシステムを入れたいと思っているが、既に実施している守谷や取手でそれぞれ別のシステムを使用しているため、統一した状態で導入できれば、と考えている。

## 2 公共交通に関するアンケート調査について

○(委員)つくば市はアンケート調査を経年的に実施しており、長期にわたって発展していく交通に対して、貴重な財産になっている。過去のデータを活用して、経年比較など丁寧にデータを見ていただきたい。

## 3 つくバス利用環境整備について

○(委員)TX 開業後、筑波山への観光の拠点があまり整備されていなかったため、広域連携バスに合わせて拠点を整備した。路線確保のための舗装以外にもバス待ちの場所と、屋根つきの5～6台駐輪できる駐輪スペースの整備も実施している。何かお気づきの点があれば、ご指摘頂き、出来る限り対応したい。

●(事務局)駐輪場整備に関して、吉沼シャトルの豊里の杜の駐車場の一部をバス停としているが、違法駐輪が多く、周辺への駐輪場設置の協議を進めている。

○(委員)拠点の整備は、自宅からバス停まで行き、バス停で待ち、バスで移動するという利用者の移動の全行程を考える必要がある。整備は、地域の人に協力していただきながら、検討するのが良い。

○(委員)バスロケーションシステムは便利なシステムだと感じている。可能であれば、バス以外のごみ収集車などにも対応していただきたい。

様式第 1 号

○(委員)荃崎地区のバスターミナルは、区長会で説明があつたが、一般市民にまで伝わっていない。そのため、進捗状況を確認できる資料があると良い。